

平成30年度 危機的な状況にある 言語・方言サミット(宮古島大会)

2018年11月24日(土) 10:00~18:45

場所: マティダ市民劇場 (宮古島市文化ホール)
沖縄県宮古島市平良字下里108-12

どなたでも御参加いただけます

アイヌ語/八丈方言
奄美方言/国頭方言
沖縄方言/宮古方言
八重山方言/与那国方言



アイヌ イヤイライケレ

八丈 アリガットオ

八丈 オカゲサマヨー

絵:狩俣亜子 タイトル:「生」

お国言葉で
「ありがとう!」

奄美 アリガッサマリョータ

国頭(与論) トートゥガナシ

沖縄(名護) ニヘーイェービル

宮古・タンディガタンディー・スティガフウ

与那国 フガラッサユ

沖縄 ニフェレービル

八重山 ニーフアイユ

南サミーミ語
ゲ(ヒ)イトー

「東京2020公認文化オリンピック」 「beyond2020」 認証プログラム

【主催・共催】文化庁 沖縄県 宮古島市 宮古島市教育委員会 国立国語研究所 琉球大学 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
【後援】ノルウェー大使館 北海道 鹿児島県 八丈町 アイヌ民族文化財団 沖縄県文化協会 沖縄タイムス社 琉球新報社 宮古毎日新聞社 宮古新報社
エフエムみやこ 宮古テレビ 日本言語学会 日本方言研究会
【協力団体】一般社団法人宮古島市文化協会 宮古地区中学校文化連盟

【趣 旨】

我が国における言語・方言のうち、消滅の危機にあるものについて、ユネスコが平成21年に発行した“Atlas of the World's Languages in Danger”の内容を踏まえて文化庁の委託した調査研究の成果、東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する最新の調査研究成果及び、消滅の危機にある言語・方言を抱える各地域の取組状況などについて知っていただき、共に考えることを通して、各地域における消滅の危機にある言語・方言の状況改善につなげる。

【期 日】平成30年11月24日(土)10:00~17:45【メインプログラム】

18:00~18:45【特別プログラム】

【会 場】マティダ市民劇場(宮古島市文化ホール)

沖縄県宮古島市平良字下里108-12 TEL0980-72-9622

【日 程】

《メインプログラム》

- 10:00 開会式(開会宣言,主催者・共催者挨拶)
- 10:15 危機的な状況にある言語・方言の現況報告
諸方言の現況・・・・・・国立国語研究所教授 木部 暢子 氏
アイヌ語の現況・・・北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
北原 次郎太 氏
- 11:10 基調講演「ことばと生きる,ことばを残す」
国立国語研究所所長 田窪 行則 氏
- 12:10 昼休み
- 13:10 危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ①(宮古方言以外)
アイヌ語,八戸方言,八丈方言,奄美方言,国頭方言,沖縄方言,八重山方言,与那国方言
- 13:55 危機的な状況にある言語・方言の語り披露(八戸方言,アイヌ語)
- 14:45 取組事例報告(沖縄県,宮古島市)
沖縄県:しまくとぅば普及センターの紹介等
宮古島市:取組全般の紹介,方言パフォーマンス実演,方言弁論実演
- 15:35 危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ②(宮古各地の方言)
池間,狩俣,大神,荷川取,来間,上野,城辺,伊良部,多良間
- 16:20 協議「危機言語・方言を継承するー継承を受ける立場から」
進行:琉球大学教授 石原 昌英 氏
南サーミ語(ノルウェー),アイヌ語,宮古方言の10代の継承者による提言
- 17:35 閉会式(大会宣言,共催者挨拶)
- 17:45 メインプログラム終了

《特別プログラム》

- 18:00 特別プログラム〈みやーくふつ漫才・宮古民謡・みやーくふつ落語・宮古民謡(古謡)〉
- 18:45 特別プログラム終了

*都合で日程等を変更することもあり得ます。

【参加者】どなたでも御参加いただけます。

【参加申込み】 不要 参加費無料 *定員850名 会場が満席の場合、御入場いただけないことがあります。

【お問い合わせ】 宮古島市教育委員会 生涯学習振興課 TEL:0980-77-4947 担当:豊見山・下地

◎関連イベント:方言大会歴代チャンピオン大会〈主催:(一社)宮古島市文化協会〉

日 時:11月25日(日)13時30分開場 14時開演

場 所:マティダ市民劇場

入場料有〈お問い合わせ〉(一社)宮古島市文化協会 TEL0980-76-6708

表絵モデル:大正3(1914)年生まれ大神島の狩俣シゲさん
(2018年第70回沖展・絵画部門入選作)